

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

令和5年8月10日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

滋賀県彦根市南川瀬町722-1

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

株式会社 石鑄テクノ

代表取締役社長 石田伸一

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第21条第1項、第22条第2項において準用する同条例第21条第1項）の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあつては、名称 および代表者の氏名）	株式会社 石鑄テクノ 代表取締役社長 石田伸一
事業者の住所 （法人にあつては、主たる事 務所の所在地）	滋賀県彦根市南川瀬町722-1

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社 石鑄テクノ つづら工場					
事業所の所在地	滋賀県彦根市葛籠町875-1					
主たる事業	細分類番号	3	1	9	9	他に分類されない輸送用機械器具製造業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	令和2年度～令和4年度
報告対象年度	令和4年度

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	設備導入対策	工場照明のLED化による消費電力の削減	2020年9月末照明設備の取替工事完了 実施済
2	設備導入対策	工場照明のスイッチの細分化	2020年9月末照明設備の取替工事と同時に工事完了 実施済
3	設備導入対策	インバーター式コンプレッサーへの更新	2020年7月コンプレッサー設備の更新 実施済
4	運用改善対策	不必要な箇所の照明をこまめに消灯	都度実施中
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

別紙算定シートの通り電力消費量が2019年度の104,745kWhから2022年度は70,041kWhとCO<sub>2</sub>の排出についても52t-CO<sub>2</sub> から34t-CO<sub>2</sub> と 約35%の削減ができており取組の効果が出ている。

次年度以降 基準年に対して原単位で毎年1%削減を目標に対しての評価は基準となる原単位が  
 基準年(2019年)のエネルギー使用量 1,061GJ、売上高 577百万円より  
 基準年の原単位: 1061/577=1.839

報告年の原単位は  
 報告年(2022年)のエネルギー使用量 716GJ、売上高 492百万円より  
 報告年の原単位: 716/492=1.455

2020年の原単位の目標値 1.839×0.99=1.821に対して 2022年度実績は 1.455と目標達成できた。

昨年度(2021年度)は基準年度比45%以上のCO<sub>2</sub>削減ができ効果が大きく発揮できたが、2022年度は基準年度比 約35%の削減に留まり削減率は鈍化した。  
 主な要因は工場内に大型の生産設備2台の導入により電力消費量は増えたためと分析する。

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

--

(第3面)

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			